

「オノ・ヨーコ A HOLE」について

今回の「A HOLE」と題された展示作品は、銃でガラス板を打ち抜き、弾痕の穴が開けられた作品です。穴の下方には下記の英文のテキストが記されています。

「A HOLE GO TO THE OTHER SIDE OF THE GLASS AND SEE THROUGH THE HOLE.」

(穴 ガラスのもう一方の側に行き、この穴を通して見ること。)
鑑賞者を自主的に移動させ、穴を通して空間を観察するように促すテキストです。

オノ・ヨーコの作品には、穴を素材にした幾つかの作品があり、60年代に書かれたインストラクションは「グレイプフルーツ」の中にも数点掲載されています。またポストカードの真ん中に穴があけられ、空を見るための穴というテキストが添えられたポストカードの作品はよく知られています。穴はオノにとっては、解放へと向かう道への入り口です。

今回はガラス板をあえて銃で撃ち抜き、穴を作りました。戦いや暴力の象徴である銃による弾痕です。痛ましさの跡が生々しく残る弾痕。しながらその悲惨な痕跡のたたえた穴も、意識を転換し、視点を変えてみると、そこは希望や夢へと続く風穴なのです。

その意識変革を想起させるために、オノは撃ち込まれた弾の反対側に行き、見ることを指示します。それは撃った側から撃たれた側へのスイッチ(交替)を意味する行為です。社会はこの相反する行為が常に表裏一体となって存在する現実があります。

しかしながら、問題解決となる風穴は必ず存在します。そしてその穴から社会を客観的に観察する眼を持ち、常に希望を失わず、未来に向かって生きよう、というオノの力強いメッセージが表現されています。